

2020年度 利用報告書

課題名(タイトル): 生体分子の粗視化/全原子シミュレーション

利用者氏名:

○検崎博生

理研における所属研究室名:

情報システム本部 情報システム部

---

1. 利用がなかった場合の理由

本年度は以前スパコンを用いて行った計算の解析を行い、論文にまとめて投稿し、結果として採択された。また、他の業務に時間を取られており、スパコンを使った研究は行わなかった。

2020年度 利用研究成果リスト

【雑誌に受理された論文】

H. Kenzaki, and S. Takada, Linker DNA Length is a Key to Tri-nucleosome Folding, *J. Mol. Biol.* In Press

Published: December 29, 2020 DOI:10.1016/j.jmb.2020.166792